

あおぞら診療所 「第5回 多職種合同カンファレンス」 アンケート

日時：平成24年5月23日（水）19：00～21：00

場所：松戸商工会議所

参加人数：112名

参加者職種

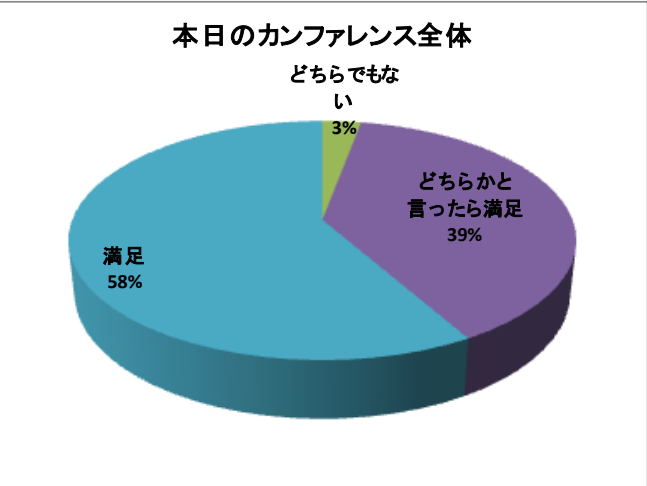
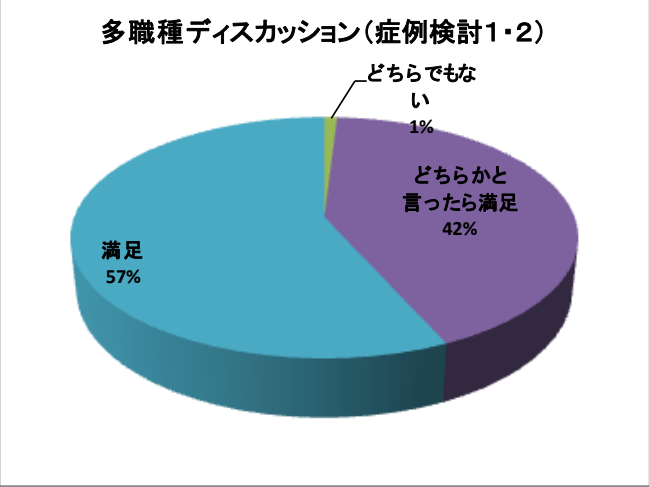
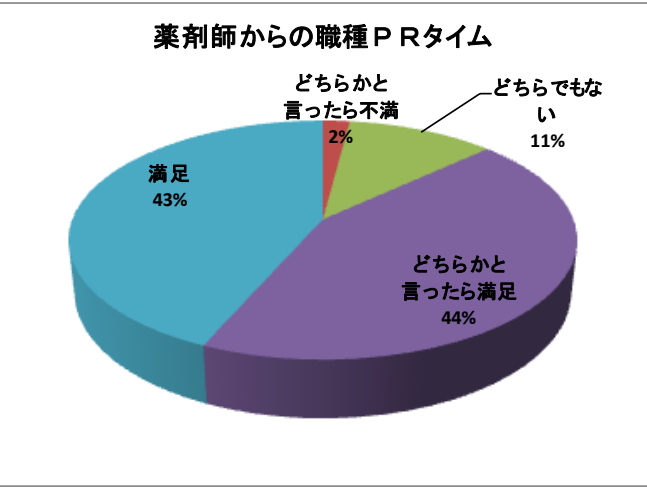
	人数	%
医師	14	12.5%
歯科医師／歯科衛生士	9	8.0%
看護師	31	27.7%
薬剤師	15	13.4%
PT／OT	6	5.4%
ソーシャルワーカー	11	9.8%
ケアマネジャー	15	13.4%
居住系施設職員	6	5.4%
在宅介護支援センター／地域包括支援センター職員	1	0.9%
市役所	4	3.6%
合計	112	100%

1) 回答者職種 （回収率：92.9%）

	人数	%
1 医師	11	10.6
2 歯科医師／歯科衛生士	9	8.7
3 看護師	30	28.8
4 薬剤師	15	14.4
5 PT／OT	7	6.7
6 ソーシャルワーカー	12	11.5
7 ケアマネジャー	13	12.5
8 居住系施設職員	3	2.9
9 在宅介護支援センター／地域包括支援センター職員	1	1.0
10 市役所職員・その他	2	1.9
無回答	1	1.0
合計	104	100.0

2) 本日のカンファレンスの評価

回答人数	不満	どちらかと言ったら不満	どちらでもない	どちらかと言ったら満足	満足	無回答	合計
薬剤師からの職種PRタイム	0	2	11	43	43	5	104
多職種ディスカッション(症例検討1・2)	0	0	1	44	59	0	104
本日のカンファレンス全体	0	0	3	40	60	1	104
回答割合	不満	どちらかと言ったら不満	どちらでもない	どちらかと言ったら満足	満足	合計	人数(無回答除外)
薬剤師からの職種PRタイム	0.0%	2.0%	11.1%	43.4%	43.4%	100%	99
多職種ディスカッション(症例検討1・2)	0.0%	0.0%	1.0%	42.3%	56.7%	100%	104
本日のカンファレンス全体	0.0%	0.0%	2.9%	38.8%	58.3%	100%	103



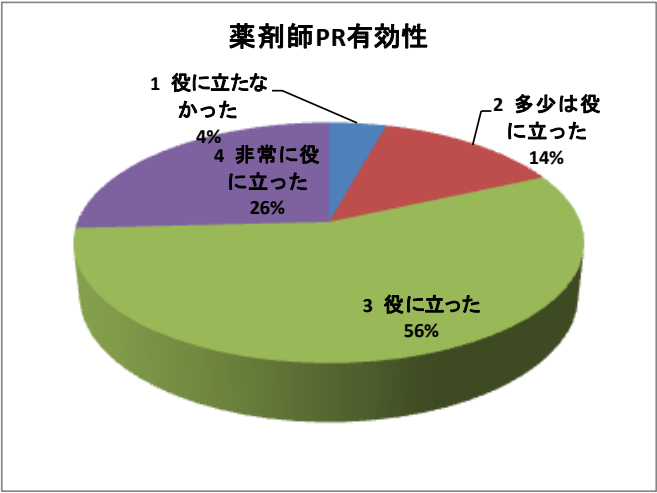
3) 専門職からのピーアール（PR）タイムについて

○薬剤師からのPRについてのご感想・ご意見・・・ 74名 回答

訪問薬剤指導について初めて知りえ、勉強になった。
薬などの管理について役立つ内容だった。
在宅での服薬アドヒアランスを上げるための取り組みをされていることがわかり、感銘を受けました。薬剤師会全体ですらに取り組んでいたのだと思います。
薬剤師が自宅へ訪問して、服薬状況の確認についてだったり、お薬カレンダーに分配することもあるということで、今まで自分が知らなかった役割を知る事ができました。
在宅ENTJに向けての内服管理方法がいくつかあり、とてもためになった。病院からでもできることがあるので、薬剤師の方々と協力していきたいと思った。
お薬の管理、家に（取りに行けない）届けてくれるというお話が聞けて、良かったです。
訪問薬剤指導の内容が分かったこと、薬剤師さんがカンファレンス等への出席をOKしてくれることがわかった。
訪看で服薬管理をするケースも多く、同じ服薬管理でも、薬剤師さんにつなぐ方が望ましいケース（専門性が高い）の例etcわかることより有意義な情報となったと思った。
訪問薬剤管理指導について知らない方も多いと思われるので、非常に助かる情報提供です。現場では、訪看さんが「お薬セット」をするものだと思うがちです。・介護保険の毎月の限度額にどう影響するかなど、実際どう影響しないか等「オインシ」所を伝えてもらおうと良かったです。点数は必要だが、毎月の限度額と区別が必要等。
薬剤師の先生から、訪問で薬剤指導を行う意義や必要性について伺うことができて良かったです。
薬剤師さんが訪問の際にどのようなことができるのか、ということを知る事ができた。
訪問診療を受けていなくても利用できることがわかり、とても参考になりました。
薬の重服についての改善策や飲み忘れ対策について聞けて良かったです。
医者からの情報提供が出来ることを知った。
ケアマネジャーにも報告書を送らなければいけなくなったということを知って良かった。
薬剤師の視点について改めて認識した。
薬剤師の役割がよく理解していただけたと思う。
具体的な役割が聞けて参考になりました。退院時共同指導が充実してくれば、患者さんの負担も少なくなりますね。
薬剤師の役割の重要性について多少理解が進みました。
地域における薬剤師の役割について知る事ができ良かった。
何をしているのか、どのようなときにお願いできるのか、理解できて、非常に良かったと思います。
新しい情報がわかりありがたい。多職種同士なんでも話し合えた。
新しい視点が見えて、勉強になった。
仕事内容がわかり、良かった。
具体的な内容が聞けて良かった。
薬剤師さんが訪薬でどんなことを注意して、訪問しているのか分かった。・業務の内容がわかった。
薬剤師の業務を新たに知る事ができました。
薬剤師のかかわりの重要性が再認識できた。
とてもわかりやすく、良かったです。・今まで訪問薬局、薬剤師の方と関わる事が少なかったのので・貴重な時間となりました。
薬剤師さんの話はある意味Drよりためになると思ったら言いすぎですが、大変頼れる職種と思います。
この会に参加し、何度か薬剤師の方から話を聞いたことで、理解が深まってきた。
勉強になりました。
改めて自覚いたしました。
在宅看護にとって薬剤師の方もとても重要な位置にあることを再確認しました。
在宅においては、大切な役割であることを認識しました。
在宅における薬剤師さんの役割がわかり大変勉強になりました。
在宅では服薬についての管理は重要です、お話が聴けてとても良かったです。
在宅における薬剤師さんの関わり方がわかり、理解につながりました。
薬剤師も在宅に関わることを知りました。
在宅での薬剤師さんの役割がわかり、とても勉強になりました。配達までして頂けるとは知らなかったのので、薬剤師さんの役割はとても大切だと思いました。
薬の配達までしているとは・・・知りませんでした。ご家族にとってはとても役立っていることだと思いました。
薬剤師の方の訪問活動を知る事ができて良かった。又、訪問活動の普及にも力を入れておられると聞き、素晴らしいことと思いました。
在宅での薬剤師の話聞く機会はあまりないので工夫している点などよくわかり良かったです。
365日24時間調剤対応が早期にできる体制になると良いと思いました。
24時間365日の営業を行うというのが画期的でした。
24時間365日対応していただけたことは初めて知ることができました。
薬剤師が何ができるかを知っていただくのに良かったです。
薬剤師として、言っていただきたいことを言ってもらえてよかった。
薬剤師の在宅での仕事の流れを紹介していただき良かったです。
中々薬剤師さんからお話を聞ける機会がないので大変勉強になりました。
遅刻にてあまり聞くことができなかったが、薬剤師の役割について多くの人に知っていただけてよかったと思います。
他の職種のPRも聞きたい。
在宅における中心静脈栄養注射の取扱店などの広報などが知りたい。
見えない仕事が見える化されていて、大変さや工夫等理解することができた。・工夫の点ではNSの意見も取り入れてもらえると尚嬉しいと思います。（協働、供働ですね）
時間が短かったためと思いますが、内容が盛りたくさんで他職種の方にはちょっとわかりにくかったのでは？と感じました。
もう少し細かい内容も聞いてみたい。
あえて、日常業務の内容も加えて欲しかった。
在宅での薬剤師の役割、できることをさらに詳しく聞きたかった。
ケアマネジャーとして導入していないので、先生方からの指示をいただけたら助かる（複雑な薬）。
薬剤師会で委員会が発足したことはいいことです。各地域に委員が説明をしてもらい訪問薬剤管理指導料のHowtoを教えてもらいたい。
薬剤師の方も一緒に服薬管理していただける体制が整うとNsからも相談したり等もしていきたいと思いました。
薬剤師は薬を管理しながら、もっとできることがあるはずだと思います。
せっかく処方されている薬が、きちんと飲んで、評価ができると良いと思います。
薬剤師さんは色々な事を知っていて、かつ理論的で勉強になりました。とても意欲的だと思います。
前向きな姿に感動しました。
よく薬剤師として努力していることがよく分かった。
積極的に外に向けての活動に対して、歯科が遅れていることは非常に強く感じた。
資料もありとてもわかりやすかったと思う。
わかりやすかった。
遅刻して来て、聞いてません、すみません。
時間に遅れたため、ちゃんとお伺いしてませんでした。すみません。
遅れたので聞けませんでした。
遅れて参加のため、詳細はわかりません。
遅れて参加したためごめんなさい。

○「薬剤師の視点や専門性、役割を知る場（薬剤師の視点や薬剤師が抱えている問題、薬剤師の役割（できること・できないこと）を知る事ができた）」として役に立ちましたか？

	N	%
1 役に立たなかった	4	3.8
2 多少は役に立った	13	12.5
3 役に立った	52	50.0
4 非常に役に立った	24	23.1
無回答	11	10.6
合計	104	100.0



○今後、専門職からの PR タイムで特に聞いてみたい職種はどの職種ですか？ 3つを選び、○をつけてください。

職種	アンケート 回答人数	該当人数	選択人数	選択割合
1 医師	11	93	21	22.6%
2 歯科医師／歯科衛生士	9	95	29	30.5%
3 看護師	30	74	20	27.0%
4 薬剤師	15	89	-	-
5 PT／OT	7	97	35	36.1%
6 ソーシャルワーカー	12	92	33	35.9%
7 ケアマネジャー	13	91	25	27.5%
8 居住系施設職員	3	101	24	23.8%
9 在宅介護支援センター／ 地域包括支援センター職	1	103	41	39.8%
10 市役所職員・その他	2	102	25	24.5%
無回答	1			
合計	104			

4) 次回、症例検討を行う場合に提起してほしいテーマや内容・・・ 50名 回答

認知症。
認知症の方。
認知症の方の看取り。
認知症の患者さんの看取り。
認知症におけるケアについて。
認知症の血糖管理など。
老健、認知症等の問題。
せん妄のみ、もしくは認知症について(今まで取り上げられていたらスミマセン)。
せん妄→夜間眠れない家族への援助の工夫、本人への対応の様々な実態。
認知症、独居の方・ALSなど難病の方・介護保険を活用できない例・虐待など行政が関わった困難事例。
痴呆で病院生活が落ち着きない場合、在宅に変えざるを得ない場合の支援方法。
独居の場合等。
独居者の例、介護力が低い、無い例。
高齢、独居、独身、身内は遠方の方、何とか1人暮らしの方の今後。
身寄りの無い独居の方(身体状況、病状等)情報が発信できない方。
独居高齢者、家族が関心が低い場合の本人、家族、多職種を含めたチームケアのあり方。
独居の方を在宅でどこまでサポートしていかれるのか。
身寄りが無い又は身元が全く不明な方の支援について。・人工呼吸器etc 医療依存度が高い方の支援について。
身寄りの無い高齢者への支援・医療意思決定の支援を中心に。
自立は無理と思われる一人住まいの老人に何とか手を差し伸べたいけど、どのようにしていいかわからない場合、老人本人は食事満足にとることができないと思われる例。
難病。
難病の事例。
難病患者様に対する在宅支援のあり方。
難病患者のケアマネジメント・介護保険以外の制度など。
難病や独居の方の支援について。
小児などの事例も少し取り上げていただけると嬉しいです。
介護保険が利用できない若年者などの症例について(心不全末期、COPD末期、神経筋疾患)。
若年者の麻痺などのメンタルケア。
若年性悪性腫瘍の方の在宅での過ごし方についてを是非。
癌以外の自宅看取り。
非がん症例。
終末期に向けての患者さんと家族介護者の心のケア。
看取りをもう一度。
家族がうつ、介護者がうつ。
精神疾患を待つ家族(家族も何らかの精神疾患を持っている)。
緩和ケア。
麻薬が緊急に必要なケース。
特定疾患に対する症例。
心疾患・CVA。
ALS。
在宅中、重度加算を取っているところはあるか?、ニーズは?。
ADLの低下した患者の在宅支援について。・在宅での呼吸器管理と看護の実際。
先の見えない介護による症例。
リハビリ(訪問、施設)。
在宅での医療、看護、介護の入り口として、地域包括や市役所への相談はどのような内容のものがあるのか?。
急性期病院で働く医師が発言する場(例えば、消化器外科のDrとか)交えてディスカッションする機会があればどうかと思います。
少しずつ病状(疾患)についての勉強の時間を設けて欲しい。
歯科医師、衛生士さんからの在宅での介入などお話いただけると嬉しいです。
良い連携について。
何でもOK。

5) 本日のカンファレンスのご感想・ご意見・・・74名 回答

日頃考えることが多いテーマでとてもよかったです。
それぞれの立場から看取りや介護、医療等の意見が出てとても参考になりました。
限られた時間の中で話を深めることは大変だが、現場でも同様なことが求められるため、良いシュミレーションになると思います。
各職種の方々も介護に対して熱心に取り組まれ、介護される方と共に家族の立場での考えを持っておられ、素晴らしいと感じた。
とても勉強になりました。このカンファレンスを無駄にしないように明日から又頑張っていきたいと思います。
それぞれの職種からの意見が聞けて良かった。看取りの大切さを痛感しました。そこにそれぞれの職種がどう関わっていくか、考えさせられました。
具体的な症例を全員で検討すると、思ってもみなかった意見や考えを聞くことができて、大変に参考になりました。
同じ看護師ではあるのですが、訪問看護師からの様々な話が聞けて大変勉強になりました。毎回、この多職種でのグループワークを楽しみにしています。
”看取りのための入所” ”療末期でのショートステイ” 初めての話だったので勉強してみたいと思いました。
他職種の意見を聞くことができてとても勉強になった。各専門職の意見が聞けてとても参考になった。
色々な視点からの意見を聞くことができ良かった。看取りの意思決定は難しい内容だった。
毎回多職種の方の意見を聞くことができ、自分の見識が広がるのを感じて帰る事ができます。ありがとうございました。
看取りというとても精神的なサポートが必要な事例に対し、以後、他職種の連携が大切になると感じました。
日常の業務の中で、今回のような症例に関わることが少ないので、色々な職種の方の意見を聞くことができてとても勉強になりました。
看取りについて、病院においてはあたりまえに行っているが、在宅での看取りはまだまだ少なく、難しいし、家族にどう支援していくか、教育していくのか……問われる問題だと思う。市民講座など色々な看取りに付いては無い様に思われる、今後、市も中心になって看取りについて行っていくことを望む。
大変勉強になりました。多職種の方とカンファレンス形式で考えられ良かったです。
2回目の参加ですが、やはり多職種でディスカッションができる環境は互いに実りが多く、有益であると再確認できました。
ワーカーの仕事を初めて1ヶ月程度なので初めてたくさんの職種の方の話が聞けて勉強になりました。
歯科の介入が最後まで摂食出来る事につながる可能性があるのではということで、緩和ケアにも定期的に取り入れていければと思いました。
多職種の看取りについての意見が聞けて良かった。
急性期病院のソーシャルワーカーとして、ターミナルの患者様を在宅へ退院する際にごどのような関わりがもてるのか、また在宅ではたくさんの職種の方々に支えていただいていることがわかりました。
多職種の方と関わることで視野が広がるものだった。看護も何通りもあるものだと感じた。
多職種の方と活発な意見交換ができてとても良かったと思います。
それぞれの職種の方の経験や日頃の思いがグループワークのときに聴けたのが良かった。
今回、初めて参加しました。今回のような話し合いがもてると、より良いケアが提供できると感じました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
多職のそれぞれの視点が聴けることができて良かったと思います。見える関係づくりが大切なのだと思いました。
訪看の方から看取りについて色々と教えていただき大変勉強になりました。
歯科のできる内容は、まだまだ専門職には伝わっていない。歯科医師会を中心にもっと活動していきたい。
良かったと思います。症例別に話し合うことで勉強になります。
多職種の方とのディスカッションは大変参考になります。
他の職場の人の意見を聞けて、すごく参考になりました。
自分の体験を思い出し、心のケアも患者のみでなく必要だと思いました。
多職種の方と意見交換することで、考え方がさまざまあり、とても参考になった。
医師と看護師さんとの話が良かった。
歯科Dr、薬剤師等、まだまだいろいろな方が在宅ケアのメンバーとなっていていただけることを改めて実感しました。
多職種とどう連携していくか、改めて、考える機会になりました。ショートステイの利用や歯科の導入についても新しい情報が得られました。
様々な職種の方のお話が聞けて大変有意義だった。職種間ご家族とのパイプ役になれるケアマネジャーになりたい。
いつも有意義な議論ができて勉強になります。運営にた関わった川越先生をはじめ皆様に感謝します。ありがとうございました。
多職種間での意見がいろいろと聞け、お互いの理解、関係を持つためにも、今回は非常に勉強になりました。
様々な職種の考え方が聞けて、大変勉強になった、看取りについて考えさせられた。
大変参考になりました。特に、看取りの話を初めてよく大切さがわかりました。
現場の経験を話してくださった訪看さんの話が印象に残りました。作業療法士さんのお話しもためになりました。
良かった、特に医師のお話が役に立った。
こういうカンファはとても良い。資質向上するよう頑張ります。恥づしので次回も参加させていただきます。
がん末期は経験が無く初めてでしたが、大変勉強になりました。
ありがとうございました。リハビリの意見も報告させていただければと思います。
色々な職種からの意見が聞けてとても参考になりました。特に歯科の方での関わり方が参考になりました。
様々な職種の方と検討することがとても刺激になりました。ありがとうございました。
多職種の方のご意見が聞けて、とても勉強になりました。1人のPを看取るためには様々なネットワークが必要なんだなと思いました。
在宅で看取ることの大変さもありますが、やはり家で看取ることの満足感、達成感を学べました。
過去のカンファレンスを含め、3回目の参加でした。毎回新しい学びがあり、現場で支援して行く上でも非常に参考になります。看取り、緩和ケアについて又いつか学びたいと思いました。
とても有意義な時間になりました。行政としてどのようにかわっていかれば良いのか、チームの一員として何ができるのかということを考えることができました。
サービス担当者会議の重要性を認識した。
多職種で専門性を出すことも大切ですが、それぞれの職種でオーバーラップした仕事の部分をうまく連携してやっていければ良いと思いました。
看取りについて、病院、自宅、その他今後考えられる場所が多様化してきて、選択肢が増えているということは大変嬉しいと思います。介護職も、関わってこれから予測される”看取り”について学んで行きたいと思います。

勉強になりました。次回に期待しております。
とても勉強になりました。様々な視点。
とても有意義であった。
とても参考になりました。良かったです。
有意義な時間を過ごすことができた。
とても良かったです。
よい勉強になりました。ありがとうございました。
ありがとうございました。
大変良かったです。ありがとうございました。
すごくいい経験となった。
いろんな方々の話を聞くことができて良かった。
様々な意見が聞けて良かったです。
他施設と話し合いができて良かった。
多職種の方の声が聞けて勉強になりました。
話し合いがCM、Dr、訪看Nsが中心の発言で、他職種のお話が聞けず少し残念だった。・良くありうるケースについて、ゆっくり話す(カンファ)ことができて良かった。
もう少し時間があったほうが良かった。
目的がよくわからなかった。
隣のグループとの距離が近いので、GWの内容が聞き取れず、進行しづらい感じであった。
冷房が効きすぎて寒かった。・普段在宅に関わっていないのでいろいろと勉強となった。